

## 第50回市民ふれあいトーク = 未来にむけたまちづくり =

日時 平成26年1月26日 10:00~11:30

場所 倉敷市役所市民ホール

### 要約版

#### 市長

改めまして、皆さんおはようございます。今日は第50回記念ということで、私が市長に就任して5年目ですので、1年に大体10回ぐらい、市議会とかもありますので、毎月1回ぐらい開催をしています。今回テーマが「未来にむけたまちづくり」ということで、皆さんに広報紙、または学校を通じて、お話ししましたところ、多くの皆様、そして様々な年代の方に来ていただきまして、心から感謝を申し上げたいと思います。今日は日曜日、昨日は雨も降っていたんで寒くなったらどうしようかと思っていたんですが、幸い暖かくなりまして、ありがたいと思っております。

市民ふれあいトークに初めて参加をされる方も多いと思いますが、1時間半ぐらいの間、会のテーマに沿って私が今の倉敷市の状況などについてお話をしまして、参加者の皆さんからテーマについて自分はこういう考えがあるとか、もっとこうしたらいいんじゃないかとか、市はこの辺りはどうなっているのかということなど、お話や質問、意見を言っていたりする会です。それを全部私がパッとお答えできるものばかりじゃあないですが、皆さんからいただいたご意見を参考にしながら市政に反映をしていくための会と思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは最初、私の方から10分ぐらい、今のテーマについて倉敷市の現状とか、課題などについてお話しさせていただければと思っております。今日は中学生、高校生、大学生の方もいらっしゃるんですね。今までの中では若い方が多い会になっているかと思えます。「未来にむけたまちづくり」ということで、各年代の皆さんに参加をしていただきまして大変ありがたく思っております。

倉敷市が今、どういう現状にあるかということで、まず人口とかから少しお話をしたいと思えます。倉敷市の人口は今48万人です。中国地方では第3番目に大きいです。1番目は広島市が120万人、2番目が隣の岡山市で70万人、この前政令指定都市になりました。そして次が私たち倉敷市、そしてその次がほとんど同じぐらいの人口で広島県の福山市。両方ともJFEさんの工場があるということで、非常に仲良くさせてもらっています。中国地方では3番目に大きいのですが、人口が多い二つは両方とも政令指定都市になっておりますので、中国地方の中での一般の市、つまり政令指定都市というのは県庁と同じような機能を持っておりますので、一般の市では倉敷市が一番多い人口ということになっております。全国では何番目ぐらいかと言いますと、全国では市町村が、東京23区も入れて1800ほどある中で、23区も入れて38番目に大きいです。結構大きい方だと思います。中国地方の中では普通の市では一番大きいので、私たちが中国地方で、また近隣岡山県内で果たすべき役割というか、そういうものが非常に大きいと思っているわけがあります。

さて、私たちの倉敷市は、様々な面を持っています。市役所の市民ホールで市民ふれあいトークをするのは初めてなんですけど、この市役所のある倉敷地区は美観地区からすぐ近くで非常に観光都市として有名です。倉敷市の美観地区は有名であり、岡山県内の観光客の方の数をずっと取り始めたのは40年ぐらい前なんですけど、それ以来ずっと観光客

の方の数は岡山県内で第1番目。大体、350万人ぐらいです。一番多い時は瀬戸大橋ができたころは500万人近く来ていたんです。ちょっと減っていますが、前はもっと減っていたんで、今は段々盛り返してきているような状況です。

そして南に行きますと、一番南には児島の瀬戸内海、瀬戸大橋があります。児島は皆さんがご存知のように、繊維のまち、そして海のまち、そして非常に景観がいいということで、瀬戸内海国立公園の一番中心の所に位置しています。日本で最初に国立公園の指定をされました。それは九州の雲仙と霧島と私たちの鷲羽山や王子が岳を中心とした瀬戸内海を中心部の所が、日本で3か所だけ国立公園に選ばれて、今年がその80周年ということで、たくさんの方が観光に訪れてくださるんじゃないかと思っております。そして今やジーンズ、中高生の方が着ていらっしゃる制服、今日皆さんが着ているのも確実に倉敷児島産ですけれども、全国の皆さんが着ている制服の9割ぐらいは、児島で作られています。児島から全国に入学式の前になると大量に出荷して、全国の方の学生服・セーラー服を作っているのが児島地区。そしてジーンズの聖地としても非常に有名です。

また水島地区には皆さんもよく知っていると思いますが、水島コンビナートがあり、この水島コンビナートで生産をしている鉄、化学製品、石油精製製品、自動車、本当に様々なものがあります。この水島で製造している製造品の価格はどのくらいあるかといいますと、岡山県内全体で作っている工業製造品の出荷額が出ているんですが、それが大体7兆何千億円かです。そのうちの約半分以上、約4兆円分ぐらいをこの水島で作っているということで、岡山県内最大の工業都市であり、そしてこの4兆何千億円というのは全国でも3番目にあたる非常に大きな場所というのがこの水島地域です。昔から山陽ベルト地帯と言われてました水島コンビナートですけれども、以前から何と言っても場所的にも工業出荷額も多いという場所です。

玉島地区はどういう地区かといいますと、以前から非常に農業が盛んな地域で、桃、ブドウ、そして最近では平成17年から真備町と船穂町が倉敷市に合併をしてくれまして、それで人口も5万人ほど増えたんですけれども、真備町、船穂町でもブドウや、またマスカットオブアレキサンドリアが全国の中でも非常に高いシェアを占めています。それからお花のスイートピー、皆さんの中でここ2、3日以内に倉敷駅に行った人はいますか。倉敷駅の改札を通りましたという人。5、6人いらっしゃいますね。改札の周りにこの金曜日から船穂町のスイートピーの展示をして、日本でも宮崎県が日本で一番、二番目が岡山県、三番目が大分県ということです。20戸の農家の方たちが1000万本のスイートピーを出荷しています。東京へ約半分ぐらい出荷していますので、東京にあるスイートピーは船穂産のものが多く伺っております。農業のまち、そして真備町は金田一耕助のまちとしても有名でして、横溝正史さんが戦時中に疎開をしてこられまして、真備町の地域の人たちから昔の話を色々聞かれて、そして金田一耕助の話を作られたということで、ミステリーの聖地としても最近では知られています。

また、藤戸源平合戦の藤戸町。家が近い方、学校に近い方もいらっしゃるんじゃないでしょうか。源平合戦で平家と源氏が戦った、そして佐々木盛綱さんが、盛綱橋というのがあるんですけれども、源平の非常に大きな合戦、転機になった場所がそこであり、また茶屋町には錦莞菟といいまして、見たことがある方は少ないかもしれませんが、昔からイ草、織物の技術が非常に盛んだった明治の時代などには、神戸か茶屋町かというぐらい織物がこの茶屋町から全国、世界に出荷をされていたということがあります。

倉敷市内は本当に今言いましたように様々な種類があり、さっき玉島の農業のことを言ったんですが、玉島は以前は比較的農業が中心だったんですが、今は玉島ハーバーアイランドという沖に、水島コンビナートのちょっと西側、高梁川を挟んで西側の所に玉島ハーバーアイランドがありますが、そこには全国でも日本の中でも非常に大きなナカシマプロペラさんというプロペラの会社、全国のプロペラの約3割ぐらいを作っていますかね。船用のプロペラです。それから日本エアロフォージといいまして、飛行機の大きな部品を作る、その作っている部品では、今のところ世界最大の部品を作る工場となっておりますが、その工場が去年の4月から生産を始めました。ですので、様々なものを作ったり、生産をしたり、そして全国に世界にPRしているまちが倉敷市です。

私の政策も色々あるんですけど、ずっと話していると時間も無くなりますので、そろそろやめようかと思えます。色々な特色を持った倉敷市がこれからどういうふうに進展していったらいいとか、ここら辺にもっと気を付けたらいいとか、こういうことを工夫したらいいんじゃないとか、そのあたりにつきまして皆さんからご意見を頂いたり、また意見交換をできればと思っていますので、よろしく願いをいたします。

#### **参加者 A さん**

おはようございます。倉敷南高校生です。本校では今年度、町衆プロジェクトというのを行っています。町衆プロジェクトというのは、倉敷のことを調べていって町衆たちの力を借りながら、倉敷の未来や自分たちの進路とか自分たちの未来について考えていこうという企画で、主に1年生が活発に行っているんですけど、それぞれに「倉敷の何とか」というテーマを決めて課題研究発表を行い、昨年の11月にはそれぞれポスターを作って、ポスターセッションという形で発表も行いました。今日はその中から課題研究発表の2グループ来ているので、是非どういう研究をしたかというのでも聞いてもらいたいです。

#### **参加者 B さん**

私たちは町家の利用と活用の方法について考えました。まず町家の再生などの活動をされている倉敷町家トラストの方にインタビューに行きました。その結果、倉敷の町屋が年々減っているということが判りました。また三宅商店にインタビューに行った時に、町家は日本の四季に対応した構造を持っていてエアコンがなくても過ごせるという魅力を教えてもらいました。そのことから町家の再生をすることは、とても大切だと思いました。そこで伝統的な美観地区の町屋をもっといろんな人達に利用してもらいたい。また、利用してもらった利益で老朽化した町家を復旧し、もっと発展させていけたらいいなと思いました。

私たちグループの話し合いの結果、観光客の多い女性をターゲットに、町家を菓子店にするのがよいのではないかと考えました。お菓子には倉敷の特産品の桃やマスカット、昔倉敷で作られていたキビやハッカを使ったタルト、ハーブティなどを考えています。伝統的な町家を残しつつ、地元の食材をアピールし、魅力を発信できれば、美観地区はもっと活性化すると思います。

私は大学で農学部に進学したいと思っています。今回の活動を生かして地域の特産品の研究などをしていけたらいいと思っています。ありがとうございました。

#### **市長**

有難うございました。今のが1プロジェクトですね。もう一つあるんですね。2つお話を伺ってから。じゃあもう一つのプロジェクトをお願いします。子育てだったですね。

### 参加者Cさん

先ほど本校の生徒会長が説明したように、私たちは町衆プロジェクトで地域課題についてフィールドワークを行ってきました。その中で私たちのグループは、倉敷市の子育てについて調べ、子育て応援カードを作ることを未来への提言として発表しました。

これは実際に倉敷市で子育てをされているお母さん方の一時保育の書類手続きが面倒なので、もっと気軽に利用したいという意見を基に考案したものです。実際に私たちも手続きに使用されている書類を見たんですが、家族構成や続き柄など、毎回書くには億劫に感じてしまうような項目もいくつかありました。そこで手続きで必要な子供のアレルギーや家族構成、緊急連絡先などの情報をカードに事前に登録しておくことで、一時保育を利用することに必要だった書類手続きをカードスキャンだけで済ませることができ、すぐに利用ができると思います。システム導入など財政面で難しい面もあるかと思いますが、倉敷市の未来にむけて是非実現してほしいです。ありがとうございました。

### 市長

はい、ありがとうございました。南高校の皆さんが町衆プロジェクトということで。2つじゃなくてもっとたくさんある。全部で77もあるんですね。グループを組んで、市の課題とか、もっとよくしたらいいんじゃないかということを検討してくださって、ありがとうございました。大変よくわかりやすい発表だったと思いますし、また町家の活用、これは本当にいいところに目を付けていただいていると思います。

さっきもお話をしましたけれども、倉敷市の最大の観光客が来ている所は、倉敷の美観地区。それは何故たくさん来ているかということ、昔からの建物が残っていて。ちょっと地域は違いますけれども、例えば軽井沢とかは土産物通りみたいになっていて、そこで生活はしていない。けれども、倉敷はそこで生活をしていたり、色んなプロジェクトをしているから、倉敷に来たらとてもいいと言われる方はいらっしゃいます。ですから町家を見るだけじゃなくて活用していくことが非常に大切なことだと思っています。市は町家の改修に対して、伝統的建造物群保存とかで修理の補助金を出したりして改修してもらっているんですが、それをどうやって活用するかということが、今非常に大きなことだと思っています。確かに女性にターゲットをつけてお菓子店とか、それも地元のハッカとかキビとかを使ったものとか、素晴らしいアイデアだと思いますので、是非実現できればいいと思うんですが、実現していくという面では、三宅商店とか、色々提案しているんですか。

(具体的には、未だ決まっていないんですけど、町家トラストという町家の保全を行っている方々とは、何度かそういうお話をさせていただいて、現在は検討中です。)

わかりました。こういうアイデアを提案してもらおうというのが非常に重要だと思うのと、例えば別の高校で、倉敷商業高校さんなんかは、例えば倉敷の朝市、三斎市とかに参加をしてくれて、そこで地元の人と一緒に開発したものとかを一緒に売ったりとかもされているんです。例えば、そういうのにも繋がっていったらいいのかなあとと思いますけれども、

素晴らしい観点の研究をいただいていると思います。

それから子育てについてですけれども、子育て応援カードですね。カードスキャンというところ。

(詳しい仕組みとかは考えてないんですけど、手続きを電子化したら一発で手続きが簡単にできるようになるから、ICカードなんかでできるようになればなと思っております。)

なるほど。子育てに関するいろんな登録をしたりとか、書類を書いたりとか、ということとは必要なところもあるんですけど。倉敷では、子育て全般ではないんですけど、障がいのあるお子さんたちの親については、一般の分だとちょっと使いにくいところもあるので、その方たちが使いやすいようなものをお母さん・お父さんたちが検討して作ってくださったりということ、それぞれの方にあったカードというかシートみたいなものを作って、毎回毎回、そこで一から担当者が代わっても説明しなくてもいいように、紙なんですけど取り入れてきてはいるんです。もうちょっと発展したらICカードみたいに、自分がネットとかで登録してくれたら、行政の事務もすごく効率化がはかれます。財政面でシステム化が大変かというのがありましたけれど、いい考えだと思いますので、すぐできるかわかりませんが、考え方としては素晴らしいものを考えていただいていると思いますので、ありがとうございました。

#### 参加者Dさん

ライフパークの英会話で帽子を忘れました。翌日行ったら、手帳に記載がないから、「もう警察に届けたでしょう。」という返事でした。一応使った教室を見せてもらったら、ありました。そういう「届けたでしょう。」という煩わしい言い回しなどは、させないようにしてください。

それから西公民館をよく利用します。西公民館でオーストラリアの先生から英語を習ったことがあります。ホワイトボードのマジックが乾いているんです。これはホスト国といえますか、私たちが見ても恥ずかしいやら、ちょっと変な気持ちになりました。そのようなことがないようにと思います。南公民館ではコーラスの講座に入ってたんですけど、「終わったら掃除をしてください。」と言います。公民館を利用する私たちに、掃除をしてくれというのはせんえつではないかと思います。泥があるという状況だったらそういうことも在り得ることでしょうけれど、モップで集めても1ミリにも満たないような砂が20, 30あるからと言って、それがどのくらいの景観を損なうかという気持ちがあります。そういうことで、使ってもらえるのか、使わせるのかという考え方だと思います。

#### 市長

今、市のサービスのことにつきまして、お話を頂いたかと思えます。ライフパークの忘れ物の件で対応が悪かったということ、また西公民館の備品のことで対応が悪かったということですので、よく確認をしてそこだけではないんですけど、未来にむけて皆さんに公共施設を気持ちよく使っていただけるように、注意していきたいと思えます。

最後の南公民館の掃除の件ですかね 私も具体的にどういうことかわからないんですけど、先ほど公民館を使ってもらえるのか、使わせるのか、という2つのお話をされました。私は

公民館は、皆で使っていただいて、また次に使っていただく方も気持ちよく使ってもらうことが大事だと思います。皆で気持ちよく使って、後は皆できれいにしていただいて、次の方に使っていただく、公民館は公共施設ですので、長持ちしないとお金もかかります。皆で使って、できれば掃除をしてくださいと言ったんじゃないかと思います。公民館の方にも言うておきたいと思いますが、なるべく皆さんのご協力を頂いて、気持ちよく使っていたらと思いますので、よろしくをお願いします。

#### 参加者 E さん

テーマに直接関係するかどうかわかりませんが、図書館の件です。岡山県立図書館へ今月行ったら、暖房が利いてたんですよ。でも倉敷の図書館は暖房が入ってないんです。去年の夏はクールシェアというキャンペーンしましたよね。アリオとかイオンとか、図書館で涼もうって。去年も夏ごろ図書館で聞いたら6月は冷房を入れなくて、7月は冷房を入れると言ったんです。でも6月に涼しくて7月に急に暑くなることはないです。だから条例を画一的に適用するんじゃなくて、温度を見て冷房なり暖房を入れるようにしてほしいです。アリオやイオンだと、うるさくてのんびりできないですよ。クールシェアのキャンペーンの趣旨に反すると思うんです。温度によって冷房 暖房を入れるようにしてほしい。

もう一件、倉敷駅前から観光バスの駐車場まで、ごみ箱が一つもないんです。それでお菓子の食べかすなどをボランティアの人たちが休日などに、拾って歩いているんですよ。それならごみ箱を設置してもらって、ごみ箱の収集などは町内会などに依頼して委託した方がいいんじゃないですかね。観光都市を標榜していてごみ箱がない。ごみがいっぱい落ちているから、ちょっとどうかと思います。

#### 市長

図書館の冷房、暖房の件ですけど、条例で決まっているわけではないです。ご存じのように非常に昔からある施設ですので、今のエアコンのようにパッとつけたりできるようなものとは仕組みが違ってまして、稼働できるまでに結構、日にちがかかることもあるんです。基本的には7月からというふうになっているんですが、暑い時期には6月からとちょっと早く準備運転を始めてという仕組みに、確かなっていったと思うんですけど、温度に合わせてやった方がいいと私も思いますので、よく注意したいと思います。

ごみ箱の件は、以前からのごみに関する経緯の話もあるかと思うんです。なるべくごみを捨てないでもらいたいというのがあって、ごみ箱を置いてないのかもしれない。ただ、実際、朝拾っていただかないといけないという状況もあるかと思うので、言っていたように何と言っても倉敷の一番の顔になる駅の周辺ですので、ごみの対策について町内の方とも相談して、頑張っていきたいと思います。どうもありがとうございました。

#### 参加者 F さん

私は、岡山学院大学・岡山短期大学で教員をやっています。本学では倉敷市と連携を取り、地（知）の拠点、地（知）の拠点整備事業をさせてもらいたいと思っております。地（知）の拠点整備事業とは、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向とした教育、研究、地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的と

しています。

先ほどの倉敷南高等学校さんのような、子育てについてということなんですけど、今現在、岡山県が推進事業として認定を受けた昨年6月から実施している子育てカレッジを是非とも、倉敷市と連携を図っていきたいと考えています。平成26年度に文部科学省に申請していきなと本学では考えています。なお連携内容につきましては、関係部署とご相談していきなと思ひますので、何卒よろしくお願ひいたします。

### 市長

今、地（知）の拠点整備事業ということではなれまして、内容が皆さんあまりわかっていないと思ひます。12月の市民ふれあいトークを大学の方で開催させていただきまして、ありがとうございます。岡山学院大学・岡山短期大学さんはまさに藤戸の歴史の場所にいらっしやるといふことで、本当に素晴らしい大学でいらっしやると思ひますし、今、地（知）の拠点整備事業ですね、そのことについてお話がありました。

ちょっと私が知っている限りのことをお話ししたいと思ひます。倉敷市内には今大学が、11有ります。学園は岡山学院大学さんの原田学園さん、川崎学園さんに、作陽学園さん、それから芸科大の加計学園さん、そして倉敷市立短期大学、すぐそこにある岡山大学さんの資源植物研究所といふことで、全部で11の大学、高等研究機関があります。その中で文部科学省の方で、大学や高等教育機関が地域に色んな貢献をするといふことで、プロジェクトをされていまして、それに出されるといふことですね。それは市の企画の方が担当だと思ひますので、色々ご相談をさせていただきたいと思ひております。

今日、学生の皆さん、大学生の皆さんがいらっしやると思ひんですが、今、国の文部科学省の方も、高校とか大学が、今日町衆プロジェクトで発表していただきましたけれども、地域にいかに一緒になつてまちづくりとか、貢献をしてもらえるかといふことが、非常に重要だとみていまして、例えばそういう面で大学が手を挙げて地域と一緒にこういうことをやりたいとか、それを認定されたらその大学に対して何か、もっとやりやすいように施策を文部科学省の方がしてくれたりといふのが、今の方が言われたプロジェクトだと思ひます。ですので、今のは文部科学省のお話でしたけれども、色んな市内、県とか国の施策、また高校でも中学校でもあると思ひますので、皆さんが考えてくださったことをこういうところとか、色んな場所で発表してもらったり、経験をしてもらふといふことが、倉敷の未来にむけてのまちづくりで大変大きなことだと思ひますので、是非よろしくお願ひしたいと思ひます。どうもありがとうございます。

### 参加者Gさん

三つほど簡潔に申し上げます。一つ目はお母さんの産後の休業、育児休業の保育の保証です。これは20～25人くらいにアンケートを取ったんですけど、実際にお母さんが産休・育休になった時に、一年後に職場復帰するときに、子供さんが保育園に入れないそうです。赤ちゃんは見えるけど第2子は家で見てくださいといふことで、5・6歳の子どもさんは保育園にそのまま残れるけど、3歳児の方は残れないといふことなんです。それって、子育て支援に反することじゃないかと思ひます。ぜひこれを解消してほしいです。第2子っていうのは2・3歳でほんとに大変なんですよ、活発で暴れまわるし。5・6歳児は就学前だからいいといふことなんですけど、ちょっとそれは反対で、子どもを平等に見

てほしいと思います。

二つ目は児童館を増やしてほしいということです。児童館は0～18歳まで無料で遊んだり、ゲームしたりしてくれるところです。資格のある人がおられて、安全です。倉敷には6個しかないのもっと南のほうに増やしてほしいと思います。これも100人ほどアンケートをとって市に申請したのですが、全然前向きになってくれませんので、児童館をぜひ増やしてほしいです。

それからもう1点、学童保育をもっと有意義にしてほしいと思います。私も学童保育に携わっていますが、市長さんも一応公約としておられますので。まわりからはすごく反対されたんですけど、平成21年6月に倉敷市民の連絡協議会を立ち上げて、去年は全国ネットワークの会議にも出席させていただいて、本当によくなったんです。けど、まだ泣いている学童保育や指導員の方がおられます。というのは、指導員の質が悪くなって、保護者と子どもと三角形になっているんですよ。要は、普通のお母さんやお姉さんたちが見てるっていう感じなので、資格を求めたいと思います。それと、指導員の先生の雇用を確保してあげてください。この3点、ぜひ未来にむけて考え直してください。

#### 市長

ありがとうございました。今、子育てについて何件かお話が出ておりますので、ちょっと後で、観光のほうに戻ってきたいと思うんですが、子育てに関することについて、未来に向けてこういうところがもっと重要じゃないかのご意見のある方、発表をお願いします。

#### 参加者Hさん

先ほど発言された方と、若干同じところがあるんですけど。私、倉敷市で子どもにかけられるお金を十分にしてほしいなと思っています。市長さんが保育園の待機児童対策ということで、3園増やしてくださったということはとても評価しています。子育てをするなら倉敷で、ということでもとても有難いなと思っています。

ある週刊誌、2月2日の発売号に保育所が危ない、9年で124件の死亡事故の記事が載っているんです。認可外では事故発生率20倍っていう記事になっているんです。これは一部の新聞でも報道されたんですけど、保育所に、施設に子どもを預けて、そこで子どもさんが亡くなるということが、何件かありまして、しかもそれは認可されているところではなくて、認可外で多い、大きい子でなくて0～2歳の子にそういった事故が、断トツに多いんです。来年から、子ども子育て新制度で制度がガラッと変わりますよね。私が一番心配しているのが、0～1歳の小さい子どもたちが預けられる小規模保育施設の中で、保育資格を持っている人が半分でもいいと、国が考えていることなんです。特に0～1歳の小さい子は専門的知識のある人がもたないと危ないんじゃないかなと思うんです。来年度から制度が変わって国がそういう方向を出したとしても、倉敷市ではそういったところにちゃんとお金をかけて、ちゃんとした人に見てもらえるようにしてもらいたいなという思いが強くあります。保育資格を持っている人は大勢いるんだけど、実際に働いていない人が多い。倉敷でもその辺は努力されてると思うんですけど、私が一つ考えるのに、労働条件が悪いので、保育士さんたちがなかなか働けないという声を聞いているんです。倉敷市の財政も厳しいかと思いますが、子どもたちにかかるお金をケチらないで、節約しないで、そういうところを大切にしてもらいたいなと思うんです。あと、公立保育園が今、ど

らんどん民営化されていっています。それも市の財政を抑えるということがあるのかもしれませんが、お母さん達の中には、やっぱり公立の認可の保育園に預けたいという声もかなり多いですので、その辺も考えていただきたいなと思います。

**市長**

はい、ありがとうございました。子育てに関することで、ご意見のある方は？

**参加者Iさん**

一番初めの方が言われた件。今、12月に子どもが生まれて、子供が二人、上の子どもを退園させなければいけないという状況、まさにおっしゃられたように、その時に当たってまして、できれば見てほしい。倉敷市の子育てが結構厳しくなって、退園しないといけない状況が出ております。どっちを優先、待機児童を優先するのか、共働き保育の方を優先するのかということは、市としてあると思うんですが、まさにその置かれている状況にあります。もう4月から妻が仕事場に復帰しなければいけないような状況で、仕事先は1年間育休が取れるというんですけど、保育園に入れない関係で、4月から復帰せざるを得ない。私がまさに今、その状況に置かれていますので、できるのであれば4月から対応していただきたいんですけど。来る前に妻と話したんですけど、4月から変わらないんだっから言わなくていいよ、という感じだったんですけど、まあ話が出たので、その補足というか、付け加えさせていただきました。ありがとうございました。

**市長**

ありがとうございました。ほかに子育ての関係がございませうでしょうか。

**参加者Jさん**

このように、市民ふれあいトークが50回目を迎えたということで、市長の市政にすごく感謝しております。先だってちょっと、12月末に倉敷市防災講演会があって、参加させていただきましたら、市長が最初のご挨拶をすごくハツラツとしていらっしやって、もうすっかり感動しまして。

実は、私も同窓会で岡山支部ですけど、今度、市長もご存じの光畑由佳さんの講演会を計画しております。光畑さんは、倉敷美観地区のご出身で、まさにあそこに生まれ育った方なんですけど、今は関東に移られて、市長もご存じのように、授乳服、赤ちゃんにおっぱいをあげるときに、肌が見えないように、上手にひだで隠すようにデザインしたお洋服の開発を日本で初めてなさいまして。女性もよくいうワークライフバランスで、子育ての時は子育てをし、また介護の時は介護、人生のプランに合わせて上手に、これを社会に支援していこうと言われてます。けど、光畑さんは、ワークライフミックスということをおっしゃっていて、仕事をしながら子育ても楽しんでいく、という自然体な仕事の仕方が一番いいんじゃないかということをおっしゃっていて。実は光畑さん自身が、授乳中とか育児中とかのお母さんを積極的に採用なさって会社を起業なさって、そのワークライフミックスの実践をしてらっしゃるんです。女性たちにも元気をつけるお話をして、色々受賞もしてらっしゃるんですけど。それから中小企業の方たちにも、こういう勤務形態が実際にできるから実践しようではないかということで呼びかけていらっしやるんです。仕事を

する場所にお布団が敷いてあって、そこに赤ちゃんたちを寝かせながら、パソコンを打ち、電話を掛け。お客さんへの対応をしながら、赤ちゃんを抱っこしているという、そういう活動をして展開していらっしゃる方なんです。その方の同窓会もしくは講演会をしようということで、今、そういう市民の運動に市長さんも参加していただくことができたらいいなと思ひまして、市長さんが実際女性でいらっしゃるって、これだけ活躍していらっしゃるということに、私自身もとても元気づけられてこういうところに応募させていただいたんですけど、もし、参加していただけるということでしたら、私たちもそういう運動を展開しやすくなっていくと思うんですね。そういうことで、よろしくお願ひいたします。

## 市長

今、子育てに関する事で色々ご意見をいただきましたので、まとめてお話をし、また次のテーマに移っていきたいと思ひます。保育の関係、また、子育て、ワークライフバランスからワークライフミックスへ、という単語も出ました。光畑さん、さっき言われてましたけど、倉敷の駅前からの商店街のところで、光畑の食器屋さん、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが。そちらが実家で、東京の青山でモーハウスっていう、今言われました日本で最初の授乳服というのを開発して、それを手広くというか、通信販売をされていると伺っています。働く女性を積極的に雇用されて、働く女性の応援をされているということで、非常に注目をされており、倉敷でも何回か講演会をしていただいたこともあるんです。私も光畑さんを存じ上げておりますので、時間がうまく合えば参加させていただければと、一応ご案内をいただけますか、よろしくお願ひします。

それで、保育のことで。先ほど保育園でなかなか入れない、また、児童クラブのことなどのお話がありました。倉敷市は今おかげさまで、子どもさんが増えてきている状況にはあります。子育てするなら倉敷で、ということで、色んな施策を私といたしましても頑張ってきているところです。が、一方で子育ての、特に保育園のところ、追いついていないという状況もあります。さっきお話をいただきましたけれど、今年、平成25年度に新しく2つ保育園をオープンしまして、来年度、平成26年度には新しく3つ保育園をオープンすることにしています。あまり隣の岡山市と比べると、岡山市では同じ期間で、確か一つ、保育園を増設されるということで。市でオープンする保育園というのがもちろん認可保育園ですが、岡山市や他の市では認可保育園と認可外保育園の両方とも活用されているということは、伺っています。なるべく倉敷市では認可保育園、公立と民間保育園両方ともありますけれど、保育園の数を、増やしていきたいと思ひています。その中で、なかなか保育園、定数自体が入りにくいというお話と、兄弟姉妹の方がいる場合ということですけど。実は厚生労働省から、お母さんが育休をされている期間、保育園に子どもさんを預けるということに対して、全国的に非常に厳しい指導が来ています。厚生労働省が言っている基準、つまり育休をされている間は、子育ては家庭でしっかり保育をしてもらって。ただ4月から保育園に入らないと、後から入れないので、ということがあると思ひます。そこは保育園の数が増えてくれば、年度の途中からでももっと入りやすくなるようにすればいいと思ひてはいるんですけど、現状ではそこまでいけてないんですけど、まずは保育園の数を増やして、かつ子どもさんが入りやすくなって、また平成27年度から子ども子育て支援新制度といひまして、保育園と幼稚園の中間くらいの施設の活用がやりやすいという形になってきますので、少しでも子どもさんたちが保育園、幼稚園に入りや

すい状況を作っていきたいと思っております。すぐ今の段階で答えが出るというものではないですが、未来にむけたまちづくりということで、今後とも子育てのことには、いろんな面ですけど、さっき子育てカレッジのお話もいただきました。力を入れていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

それでは、さっき町衆プロジェクトとか、観光とか、まちづくりのことについて少し発表していただいたんですが、そのあたりについて、まちづくりとか、町の活性化のことについて、私もぜひ皆さんからご意見をいただきたいと思っております、そのあたりのことについてご意見が頂ける方、いらっしゃるでしょうか。

#### **参加者 K さん**

これもまちの活性化になると思うんですが、私、倉敷コンベンションセンターの傘下の倉敷ボランティア協議会に属して、現在美観地区の観光ガイドをしております。現在、男女合わせて45名おります。残念ながら日本の人口が約1億2830万おりますが、国内の観光客がだんだん減っているような様子だと。それで逆に外国の、イギリス、アメリカ、中国、台湾、韓国ですね。私どもの仲間には、韓国語とか中国語を通訳なしで話せる者がおります。英語は45名ほとんど話せますから。中国をとって考えますと、中国の人口は13億7000万ですね。日本の人口の約13倍以上ある中国ですから、外国を相手にしない手はないと思っております、今、外国方面に力を入れているんです。アリオとか、三井アウトレットのお客さんを誘致するというので、倉敷の北側にも案内所をおいて、国内の落ち込んでる観光客を誘致するためにも使えます。観光業界による相乗効果、交通費とか宿泊費、それから食事、お土産も。非常に大きな金額があります。外国から外貨の獲得にもなりますので、今後その点に十分力を入れて、頑張っていきたいと思っております。

それから、市からのコンベンションビューローへの補助金が、だんだん減っているということで、コンベンションビューローから私どもへ降りてくる、私どもはある程度ボランティアでやっておりますので、お金を稼ぐ観光業界に、補助金を削らないように、よろしく願いたいと思っております。以上です。

#### **市長**

はい、ありがとうございました。外国からの観光客の方とかのお話をいただいたんですが、観光関係のことで意見のある方はいないでしょうか。

#### **参加者 L さん**

私は前からイベントをしてるんですけど、イベントをするたびに、いちいち許可をしたら、イベントができないんですよ。これをぜひ、許可なしで、この人には許可を与えずずっと1年間できますよ、という制度を設けてもらいたいんです。今、私は岡山の吉備津神社で、許可なしで、名刺1枚でやってよろしいですということでしたりします。池田動物の案内を今、しとります。ずっと、ボランティアでやっております。

#### **参加者 M さん**

すみません。先ほどの方も言われたんですけど、やっぱり国外から観光客を呼んでこない、なかなか難しい状況になっていると思っております。例えば、今ちょうど新聞に出てまし

たけど、パリヘジーンズの宣伝に行ったりとか、標識の掛け替えをやったりとかは聞いてるんですけど、市内にかなり外国人の方も在住されてるみたいでして、今ネットとかSNS、ソーシャルネットワークサービスみたいなものを使ってですね、市内のいいところを外国人の母国に向かって、情報発信していただくような仕組みを作れないかな、と考えておりました。で、その人たちの目線と、僕ら、ここで住んでる人の目線は違って見えるのかなと。その人たちは、倉敷市ってこんなええところがあるんやな、というところが見えてくるんじゃないかと思うんで、そういったものを何かネットワークで結べるような仕組みを作れたらいいのかなと思っています。

#### 参加者Nさん

おはようございます。観光のことで思うことなんですけど、私も色々、県外とかへ旅行へ行くんで思うんですけど、やっぱり人が温かくて、おもてなし。去年は、東京の国体に行ってきたんです。すごい温かくて、また東京へ行ってみたいなって思ったんです。そういう観光づくりをしていったらどうかと思うんです。

本当に自分の観光地とかがよかったら、倉敷はいいから来てって言えるんです。みんながいろんなところで、口コミで広げていくっていうのが、一番お金がかからずに、呼んでいけるんじゃないかなって。それからTVがすごい影響力があるので、よその市ですけど、黒田官兵衛っていうTVを通してPRしているところもあるので、TV関連の人がここ倉敷市の観光を使いたいと言ったら、どんどん使ってもらってPRしていったらと思います。お金をかけずにどれだけPRとか、宣伝できるかということを工夫して考えていったらどうかと思います。

#### 参加者Oさん

非常に未来に向けた話、まちづくり、あるいは観光について大きなことを言いたいと思います。例えば、JR倉敷駅・美観地区・芸文館・市庁舎あたりに向けて、新交通手段。未来型の小型リニアなどを高架で造って、大原美術館を超える観光あるいは利便性をつくってはどうかと思います。新交通システム、恐らく50年先になるかもしれませんが、そのくらいの長期スパンで。アリオやイオンができたくらいだから、できないという可能性はゼロではないと思うので、そういう提言をしたいと思います。

#### 市長

今、観光とかのお話をしていただいたんですが、では観光についてあと二人。

#### 参加者Pさん

みずしま財団のものです。お世話になっています。観光というか、未来にむけたまちづくりということで、今美観地区が中心で、観光を考えておられると思うんですけども。

倉敷というところはもっとたくさん魅力があって、それこそ私どもの水島も、かつて公害があった、でもそれを今克服して、環境にかなり配慮したコンビナートの取り組みですとか、住民の皆さんもまちづくりといった取り組みをされている、そういう経験というもの、特に今、海外で公害問題なんかも発生してきていて、そういう地域の人たちが、日本に学びに来ています。そういう学びのできる地域ということで、海外にも情報を発信し

て、学んでいただく取組みが地域の活性化につながっていくのじゃないかと思います。

昨日、そういう環境学習でまちづくりをということで、水島でパネルディスカッションを行いました。市の方もご参加いただいて、協働で、企業・行政・住民団体が一緒になって取組みを進めています。環境最先端都市・倉敷ということで、過去の経験も含めて、今取組みというものを発信しながら、それも倉敷市の売りとして、是非、これからもPRをしていただけたらと思っています。よろしくお願いします。

### 参加者Qさん

今日は中・高校生の方が来られとるので、ぜひ市長さんに、やはり未来をつくるまちづくりと言っても、所詮、人づくりなので、人が元なので。先日も星野監督の下で働いた田中マーくんが、仙台から発信した言葉は、小さい時から野球が好きで、自分に刺激を与えてくれた人がおったから、それで目標をつくれたと。倉敷市はずばらしい市長を迎えることができたので、市長が中学高校の時の大きな夢、志とか、社会に出たらこういうことがしたいと思われたことを、現役で若い人がいっぱいおるわけですから、差支えない程度で、エールを送るという気持ちで、ぜひよろしくお願いします。

### 市長

はい、わかりました。今、観光とかまちづくりのことにつきまして、皆さんから色々ご意見をいただきました。ボランティアガイド大変ありがとうございます。それから外国人の方のお話、またおもてなしのこと、また高架にしてリニアにしたらどうかという壮大なことをいただきましたし、環境のことをもっとまちづくりの大きなテーマにしたらよいのじゃないかということ。

外国からの観光客というのは非常に大切なことだと思います。今、倉敷の外国人の方、泊まっている方しか統計がとれないですけれども、1年間に泊まっていらっしゃる方で、5000人くらいでしたか。東日本の大震災が起こってから、ちょっと減ってきているんですけれども、フランスとか台湾とか韓国、今、国との関係で韓国と中国で観光客の方が減っているということがあるんですが、また段々、数は盛り返ってきています。2020年の東京オリンピックが決まりました。これまでのオリンピック、バンクーバーとかトリノとか、今回ソチで、高橋大輔選手も行かれるんですけれども。オリンピックが昨年2013年に決まって、2020年までの間に、これまでにオリンピックを開催した国では、2020年だったら、2020年だけパッと増えるんじゃなくて、決まった年から徐々に外国の観光客の方が、大体増えてきているような状況にあります。最低でも2倍、多い時には5倍くらい増えてきているということを、オリンピック関係の方に聞いたことがあります。それでその中で、先ほど少しお話にもあったんですが、倉敷市も国とかと協働で相談をして、外国人の方が、より倉敷に来てわかりやすいような仕組みを作ってきているところでした。もちろん、ボランティアガイドの皆さんが英語でペラペラと説明していただくのも非常に重要なことですが、それだけでなく加えて、標識ですね。今言ってくださいました。例えば、美観地区にある「ピカン エリア」と書いてある標識があるんですが、これではちょっと外国の方にはわからないんですよ。ですので、「ヒストリカル エリア」とか「ヒストリカル クォータ」。それから「本町通り」も「ホンマチ ドオリ」と書いてあるんですけど、なかなか「ドオリ」では伝わらないので、「ホンマチ アヴェニ

ュー』aveと書いたら、アベニューで世界共通な標識ということになりますので、そういうところを変えたりすることが1つと。

それからこの前、年配の皆さんが多く参加してくださった「生涯現役のまちづくり」の時にお願いしたんですけれど。また高校生や中学生の方がいらっしゃるので、2020年までに絶対、外国から来る方は非常に増えるわけで、そうすると皆さんが町で向き合う外国人の方の数も必ず増えるわけです。それで向こうから、「ハロー」とか言って来られるわけです。その時に「ハロー」とか「グッドモーニング」とか、何か聞かれるわけです「ホエアー イズ オオハラミュウジウム」とか聞かれます。そうした時に、その通りをまっすぐ行ったら右ですとか、左ですとか、向こうのほうですとか。例えば、そのくらいは、簡単でも良いですので、皆さんが言っていただけるようにしてもらいたいなということをお願いしたんです。外国人の観光客の方というのは、もちろんツアーでくる方もいらっしゃいますけれども、そのまちのことを知りたくて、来られる方がやっぱり多いわけです。事前の下調べもして来られない、ですので、町の人と触れ合って、先ほど、おもてなしのお話もありましたが、地元のおじいちゃん、おばあちゃんと話したけど、英語でしゃべってくれたよ、とかそういうのが自分の国に持って帰ってもらって、日本の倉敷という所はすごい良い所だということを、是非、発信してもらいたいなと思っています。ですので、学校で英語を習われている方は、しゃべりのほうも是非頑張っていたきたいと思います。市の生涯学習講座でも、オリンピックが近づいてきたら、少しはオリンピック向けの対応の講座とかをやれば良いなと思っているんですけれど。

それから最近、私が非常にうれしかったことは、今年1月12日に成人式があったわけですが、倉敷のマスカット球場で。今日も成人式の関係の方もいらっしゃっていると伺っています。成人式の実行委員会の43名の皆さんが1年くらいかけて、色々準備をして、今年は何をテーマにしようとか、例えば後にずっと残るものを作ろうということで、しおりを。そのしおりも倉敷市内の色々な地域の写真を使って、かつ、その周りをカモ井のテープで。カモ井さんがテープを提供してくださったと伺っているんです。持ってきてくれているんですね。(参加者の新成人の方がしおりを皆に見せる)片面には市の鷲羽山とか真備町の写真とか使って、裏側には自分たちが今まで過ごしてきた20歳までの期間、7305日経って成人になりました、という日にちを入れて、周りをカモ井さんのテープで装飾して、1つも同じものはないわけです。それを3000個くらい作って、みんなに配ったりしてくれて。ということがあって非常にうれしかったんですけど、地元のものを使って、地元の写真とかも使ってPRしてくれてとてもうれしかったです。

先ほどの方が言われましたけれども、中学高校を倉敷で勉強して、大学で別の県へ行かれる方もいらっしゃると思うんですが、是非、私としては、倉敷の応援をしてもらいたいなと思っています。皆さんも住んで感じていらっしゃると思いますけれども、倉敷は本当によい町です。本当に素晴らしい町だということを、皆さん一人ひとりが誇りを持って、友達に発信したり、外に向かって発信してもらったら、観光客の方も来て、経済も活性化すると、また雇用も生まれてきて、皆さんが働く場所も増えてきたりという、そういう良い循環になっていくと思います。

未来にむけたまちづくりということで、色々な観点で皆さんからお話をいただきました。子育てのこと、まちづくりのこと、観光のこと、公共のサービスのこと等々。

最後に先ほどのご質問で、私が中学・高校の時に何を思っていたかというお話をすると

いうことで。私は皆さんたちのように積極的に学校のプロジェクトに参加していました。生徒会に参加したり、周りの学校との交流とかを結構していました。それは、自分の学校の中だけのことはまず勉強するんだけど、自分の外には広い世界がある、それを知るためには、ちょっとずつでいいから周りの大人・地域の人と話してみたり、勉強してみたら、またそこから次が生まれる、ということ、講演に来られた方に言われて、それを生徒会活動を通じて、皆と一緒に実践しました。そうしたら、外から見た自分の学校や地域のこと、自分がわかって、自分の所はこう思われているんだとか、もっと改善したほうがよいとか、ここが良く思われているということがわかって、相手の学校の人たちも良い所を教えてください、段々輪が広がってきたということがありました。

そういうこともあり、社会に役立つ仕事をしたいと漠然と思っていたんですけども、まさか市長になるとは思っていなかったんです。何か公共的なことをしたいなと思っていて、公務員試験を受けて、国に入って、市役所に勤めることになってということです。皆さんそれぞれ、関心を持っていることがあると思います。音楽だったり、農業だったり、芸術だったり、まちづくりだったり、食べ物だったり。そういうことを通じて、ちょっとずつでいいので、外の世界・他の地域のことを勉強してもらって、そうすると自分達のこと、がよく見えてくるし、自分の地域のことがよく見えてくるんじゃないかと思います。未来にむけたまちづくり、そろそろ終わりたいと思いますけれども、我々が住んでいる倉敷市がより良くなりますように、今日、あまりハードとかの話はしませんでしたが、まちづくりについて、とにかく皆さんが関与できる、または自分が興味を持ってできる、参加をしていただけることが、倉敷の明るい未来につながっていくと思っております。これからも市のまちづくりに対しまして、ご支援をいただければ有難いと思っております。今日は、どうもありがとうございました。